

大潮の日の磯遊び

たくさんの海の生き物とふれあえる、磯に出かけてみませんか。鎌倉では、和賀江嶋（鎌倉駅からバスで飯嶋バス乗車、徒歩2分）などで磯遊びができます。丸石を積んでつくられた鎌倉時代の港の跡で、大潮の日の干潮のときだけ、海上に現れます。潮だまりで、カニやヤドカリを探してみましょ。

●こんなものを持っていこう

帽子、日焼け止め、濡れてもよい運動靴（サンダルは脱げやすいので避けて）、飲み水、軍手、網、水槽やバケツ、時計、タオル、着替え、ビニール袋など（あれば図鑑や水の中を覗くメガネ、ピンセット、マイナスドライバー〔貝などを岩からはがす〕、ルーペなども）。



和賀江嶋



●磯へ到着！さあ引き潮だ

潮時表や新聞などで大潮の日の干潮の時刻を確認し、干潮時刻の2時間前ごろ到着するように出かけましょ。関東では、春の大潮の日に、特に大きく潮が引きます。変化に富む磯は、生き物の命であふれています。ヤドカリ、ヒトデに魚、コバルトブルーのウミウシや、カニが海藻を口に運ぶ様子も見られるかもしれません。生き物が、環境によって住み分ける様子も分かってくるでしょう。観察が終わったら、生き物を見つけた場所に戻してあげましょ。岩の表・裏にすみ分けている生き物もいるので、動かした石も元の位置へ。潮が満ちてきたら、沖に取り残されないよう、早めに岸に戻りましょ。



モクズガニ



ミミイカ



アオウミウシ



観察したら生き物を見つけた場所に戻してあげよう



ヒトトマキ



オニヤドカリ



ケヤリムシ

●磯での注意

滑って転ばないように、足元に気をつけてください。毒針を持つゴンズイ・ハオコゼや、クラゲなどには触らないようにしましょ。カニやウニを触るときは軍手をするなどケガをしないよう注意して。つばの広い帽子をかぶり、こまめに水を飲んで、日射病を防ぎましょ。波が高いときは、無理に海に近付かないでください。地震の後は、津波の危険があるので急いで高台へ。



カニに手をはさまれないでね



ウニのトゲに注意



背ビレや尻ビレに毒のトゲがあるハオコゼ



背ビレや胸ビレに毒のトゲがあるゴンズイ



刺されると大変！絶対さわらないで！